

愛知県基幹的広域防災拠点候補地調査

報告書

平成 24 年 2 月



目 次

序. 本業務の目的と検討の手順	1
1. 基幹的広域防災拠点整備の背景	3
(1) 国における基幹的広域防災拠点の整備等に関する動向	3
(2) 基幹的広域防災拠点に関する新たな動向	7
(3) 愛知県での基幹的広域防災拠点に関する検討経過	9
2. 東日本大震災の教訓等	10
(1) 東日本大震災対応の問題点	10
(2) 「東海・東南海・南海3連動地震」で想定される被害の特性	21
3. 愛知県の地域特性	23
(1) 東海地方における大地震に対する備え	23
(2) 位置・都市機能等	25
(3) 交通特性	29
(4) 特性のまとめと評価	30
4. 新しい基幹的広域防災拠点像	33
(1) 既存の基幹的広域防災拠点の問題点	33
(2) 新しい基幹的広域防災拠点のコンセプト	34
(3) 東北に基幹的広域防災拠点があった場合の活用シミュレーション	39
5. 基幹的広域防災拠点の機能の検討	42
(1) 基幹的広域防災拠点の機能	42
(2) 一極集中型と分散ネットワーク型の検討	45
(3) 愛知県の特性に対応した整備方向に関する検討	48
6. 基幹的広域防災拠点の適地の検討	51
(1) 基幹的広域防災拠点の適地選定の方法	51
(2) 候補検討地区の抽出と評価方法	51
(3) 候補検討地区の評価と適地の選定	55
(4) 適地における防災拠点機能の検討	57
(5) コア拠点の適地の抽出	64
7. 整備構想案の作成	65
(1) 整備タイプの設定	65
(2) 整備方針の設定	66
(3) 整備構想案	69
(4) 整備効果と各案の比較評価	75
8. 具体化に向けた必要な取り組み	76
(1) 国の取り組み	76
(2) 愛知県の取り組み	77
(3) 国・愛知県を含めた関係機関の取り組み	78

資料編